

授業科目

教育課程論

担当教員名 足立 淳	対象学年	2	対象学科	健栄・スポ・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	○

授業の概要

学校教育は子どもの成長と発達とを目的とした意図的な営みである。そこには、彼らの成長と発達に必要な文化を有する原理に則って組織した全体的な計画と、それを実践し、評価し、改善するという一連の過程が不可欠となる。この授業は、そうした過程全体を教育課程として把握したうえで、その歴史の変遷や編成原理、構成要件などに関する理論を講義するものである。さらに、優れた教育課程の経営事例を紹介し、受講者に、上述した理論を踏まえた教育課程に関する協同的で主体的な学習を促すものである。

授業の目的

この授業の目的は、受講者が将来教職に就いた際に、社会や時代からの学校教育に対する要請を自らの教養に照らして主体的に判断しながら、児童・生徒の福祉やQOLの向上を念頭に置いて教育課程を運営していくことのできる基礎的な教育学的教養を習得させることにある。

学習目標

上記の目的を達成するために、この授業では、以下の学習目標を設定する。

- 1 教育課程概念の内実について説明できる
- 2 児童の権利の内実について説明できる
- 3 近代日本の教育課程を貫く原理の変遷史を説明できる
- 4 近代日本の教育課程の変遷史を大まかに説明できる
- 5 最新の学習指導要領の背景と要点を説明できる
- 6 教育課程の諸類型と編成原理について説明できる
- 7 教育課程の要件と計画について説明できる
- 8 教育課程の評価と改善の方法について説明できる
- 9 優れた教育課程経営の事例に即して、現代の学校教育の問題点に気づき、その改善策を提案できる
- 10 社会情勢の変化を踏まえて、現代に求められる適切な教育課程とは何か、説明できる
- 11 適切な教育課程を構想するために、他者と協同して積極的に課題に取り組むことができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	教育課程論の概要	ガイダンス	足立 淳
2	教育課程概念の内実	講義	足立 淳
3	教育課程を貫く原理(1)－子どもの権利条約－	講義	足立 淳
4	教育課程を貫く原理(2)－大日本帝国憲法－教育勅語－	講義	足立 淳
5	教育課程を貫く原理(3)－日本国憲法－教育基本法－	講義	足立 淳
6	戦後の学習指導要領の変遷(1)－1970年代以前－	講義	足立 淳
7	戦後の学習指導要領の変遷(2)－1980年代以後－	講義	足立 淳
8	最新の学習指導要領の背景と要点	講義	足立 淳
9	教育課程の諸類型と編成原理	講義	足立 淳
10	教育課程の要件と計画	講義	足立 淳
11	教育課程の評価と改善	講義	足立 淳
12	優れた教育課程経営の事例に学ぶ(1)－地域の課題と願いに応える－	講義・協同学習	足立 淳
13	優れた教育課程経営の事例に学ぶ(2)－学校発の社会変革を目指して－	講義・協同学習	足立 淳
14	優れた教育課程経営の事例に学ぶ(3)－児童・生徒の福祉とQOLの向上のために－	講義・協同学習	足立 淳
15	困難な時代を生き抜くために	講義	足立 淳

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他

教科書	『小学校学習指導要領 平成20年3月告示』	文部科学省	東京書籍	2008年	238円	小学校教諭免許取得希望者のみ必須。
	『中学校学習指導要領 平成20年3月告示』	文部科学省	東山書房	2008年	244円	中学校教諭免許取得希望者のみ必須。
	『高等学校学習指導要領 平成21年3月告示』	文部科学省	東山書房	2009年	588円	高等学校教諭免許取得希望者のみ必須。
参考書						
その他の資料						

評価方法

課題への取組 50%程度

期末試験成績 50%程度

※ただし、出席率が3分の2に満たない受講者は期末試験の受験資格を失う

履修上の留意点

- ・教科書指定の学習指導要領については、自分が希望する学校種のを全て購入しておくこと
- ・履修にあたっては、高等学校卒業程度の近現代史に関する基礎的な知識を有していることが前提となること

オフィスアワー・連絡先

adachi@nuhw.ac.jp